ジャパン・ツーリズム・アワード
大賞に南三陸ホテル観洋

世界最大級　旅の祭典
ツーリズムEXPOジ
パン2017」を主催
る日本観光振興協会と
本旅行業協会（JAT
）、日本政府観光局
JNTO）は8月25日、
内、海外の団体・組織
企業の持続可能で優れ
取り組みを表彰する
第3回ジャパン・ツー
ズム・アワード」の各
を発表した。大賞には
部長商店　南三陸ホテ
観洋（宮城県）の
『震災を風化させない
ための語り部バス』によ
る地域交流活性化への取
り組み」が選ばれた。

南三陸ホテル観洋は、
2011年3月の東日本
大震災直後から、宿泊施
設を被災者に提供するな
ど地域に寄り添い復興の
道を開いた。同時に「語
り部バス」を催行して震
災体験を宿泊客に伝える
ことで防災意識の向上を
図っている。震災を風化
させないためのたゆまぬ
取り組みが評価された。

女将の阿部憲子さんは
「私たちの思いを今後も
発信していくための大き
な励みになる。語り部活
動は国や世代を超えて地
域の歴史や文化の継承を
未来へ伝え、多くの方々
が現地を訪れるきっかけ
となり、地域の交流人口
拡大や絆を結んでいる。震災復興だけでなく、
観光振興、地方創生につ
なげていくために、一層
地域の発展に努めてい
く」とコメントしている。

ジャパン・ツーリズム
・アワードは、ツーリズ
ム業界の発展・拡大に寄
与することを目的として
いる。今年が国連の定め
る「持続可能な観光国際
年」でもあり、今回は持
続的な観光への取り組み
をテーマとして募集。昨
年の158件を大きく上
回る239件の応募があ
った。国内・訪日領域、
海外領域、UNWTO
（国連世界観光機関）部
門の3カテゴリーがあ
り、国内・訪日領域は1
87件、海外領域は48件、
UNWTO部門は4件。

国内・訪日領域では部
門別に次の3点が優秀賞
に決まった。

ビジネス部門は、パー
クホテル東京（東京都）
の「アーティスト・イン
・ホテル　プロジェク
ト」。ホテルの客室をア
ート空間にする先駆的な
取り組みでインバウンド
市場での差別化を進める
と同時に日本の魅力を増
加させていることが評価
された。

地域部門は大歩危・祖
谷いってみる会（徳島県）
の「秘境山間地のインバ
ウンドへの取り組み」。
公的資金に依存せずイン
バウンド客を7倍に増や
し、秘境・祖谷渓温泉を
ブランド化させた。

地域部門は、田舎館村
むらおこし推進協議会
（青森県）の「田んぼア
ート」。各地で行われる
「田んぼアート」の先駆
的存在、田植えや稲刈り
などの体験を加えて進化
を続けている。地域活性
化とともにビジネスモデ
ルとなっている。

同アワードは、連続応
募、連続受賞を可能とす
ることで、応募取り組み
の継続性、発展性を重視
している。地域部門賞で
は、スターピレッジ阿智
誘客推進協議会が3回連
続で受賞。満天の星空を
見たいという要望を叶え
る「スターピレッジ阿智
日本一の星の村」の取
り組みは、町全体で「星
の村」をアピールし、毎
年企画を進化させ訪問客
が増加している。

表彰式は9月21日のツ
ーリズムEXPOジャパ
ン開会式に続いて開催さ
れる。

2017年9月2日(土)
【観光経済新聞】